



藤の台だより

学校評価アンケート特別号

2023年2月20日

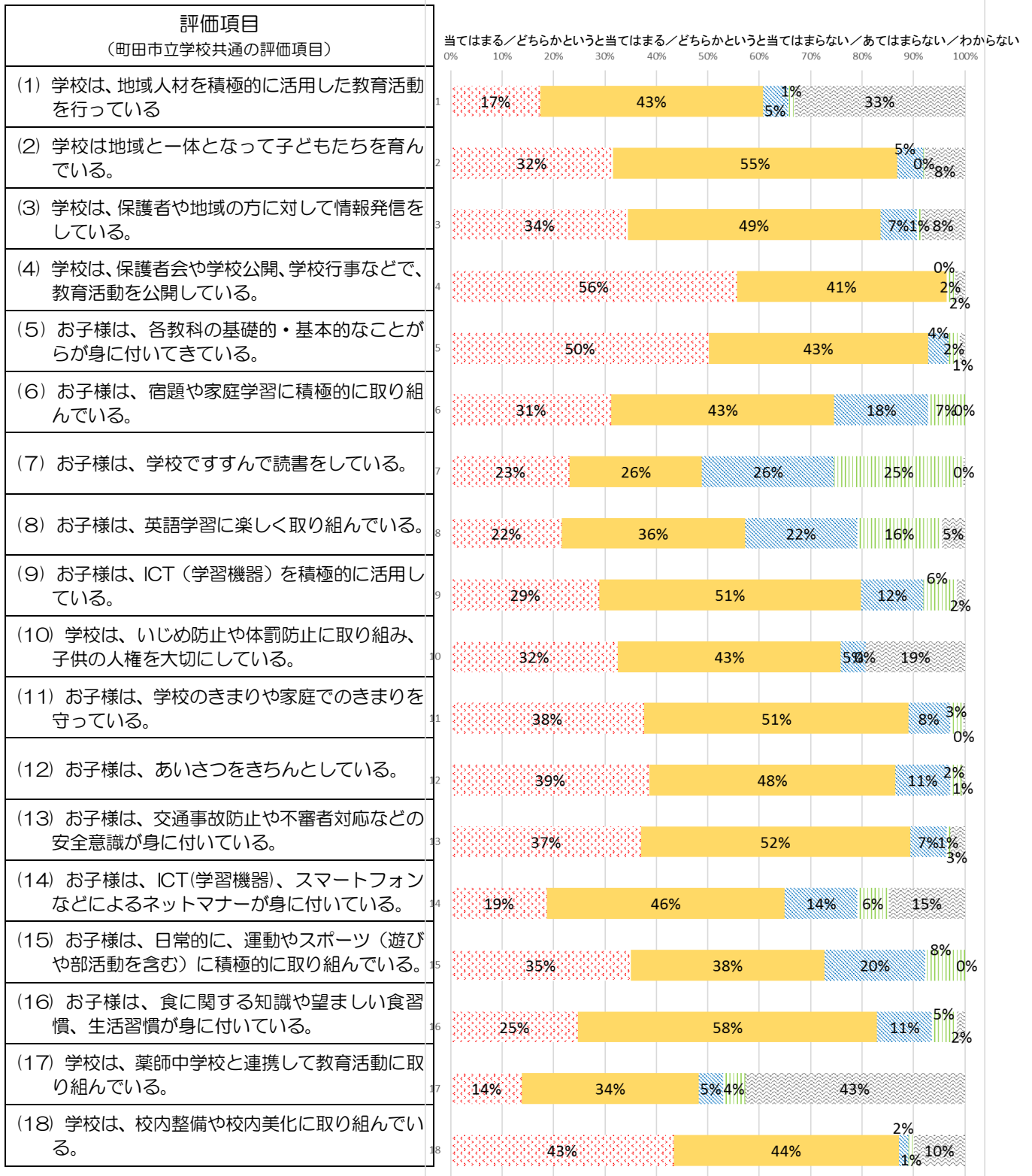
町田市立藤の台小学校

校長 長瀬 泰一郎

藤の台小学校 学校評価アンケートのまとめ

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度も保護者アンケートにご協力くださりありがとうございます。学校評価の集計結果がまとまりましたのでご報告します。お寄せいただいた貴重なご意見は、教職員全員で検討し、来年度の教育活動にいかして参ります。今後もよろしく願いたします。





【自由記述欄の意見より】

コロナ禍の中、活動内容の一部変更や参加人数などのご協力をいただき、工夫しながら教育活動を実施いたしました。特に運動会、音楽会、藤小まつりなどの実施などについては、肯定的な意見を多くいただきました。その他、ふだんのお子さんの様子から日々の教育活動を肯定的に捉えてくださる意見もたくさんいただきました。すべてのご意見に回答することができませんが、複数意見を中心に答えします。○新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖などの情報については、町田市の方針により当該クラスのみと、なかなか開示しにくい状況ですが、開示方法が変わり次第お知らせできるようにいたします。○欠席時のオンライン授業については、長期の欠席が見込まれる場合や、症状などによりオンラインを活用した授業をお考えの場合は担任までご相談ください。○マスク着脱については、市の方針に従いながら体育や校庭での活動時、屋内でも臨機応変に対応していきます。○学校のきまりについては、教員、代表委員会の児童、学校運営協議会で見直しました。更新したものをホームページに掲載しましたので、現在掲載中の学校いじめ防止基本方針などとともに、ぜひご覧ください。○トイレについては洋式率が低い現状ですが、町田市より学校に4台分の予算を付けていただきましたので、近いうちに工事が始まる予定です。○異学年交流については、今年から仲良しタイムを設け、月一回異学年で遊ぶ日を設けています。日常の休み時間でも異学年で遊ぶ姿が見られるようになってきており、来年度も継続していく予定です。○セキュリティについては、登校時下校時を除き電子錠の使用をこれからも適宜行っていきます。

皆様のご意見を真摯に受け止め、次年度の教育計画に反映してまいります。全体を通して何かあればお問い合わせください。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【評価項目の改善の方向性】

(1)	ボランティアコーディネーターを中心に、地域・町田市・企業等のゲストティーチャーによる出前授業や体験的な活動を年間40回以上行いました。今後も地域人材活用を推進いたします。
(2)	地域ボランティアによる登校見守り、民生・児童委員、健全育成地区委員、各町会、消防署・警察署等と連携・協力し、今後も子どもたちのよりよい成長のためにコロナ禍でもできることを工夫して行ってまいります。
(3)	学校HPの更新(学校だより、学年だより、学校日記等)や一斉メール、クラスルームを活用した情報発信を行っています。なかなか自由にご来校、ご参観いただけない状況ですが、今後も必要な情報を発信いたします。
(4)	感染対策を十分に行い、運動会と音楽会を観覧できるようにしました。また今年度は対面での授業公開を3回行いました。今後も「どのように公開するか」を考え、実施方法を工夫して行ってまいります。
(5)	昨年度と同じような高い評価をいただきました。今年度も教科の基礎的・基本的な内容が着実に身に付き、自分の考えをもち、それをどう伝えるかという「価値ある対話」を意識した授業改善を行いました。
(6)	今年度も漢字や音読、ICTを活用した家庭学習を行っています。今後とも、子どもの発達段階に合わせ、ICTの活用やプリントによる家庭学習も併用しながら意欲的に取り組めるような家庭学習を実施していきます。
(7)	学校で課題の終了後に読書をする児童は多いです。読書時間、図書の間、読み聞かせ、ブックトークなど、子どもたちが本に親しむ機会や、自分で本を選んで読む時間を意図的・計画的に行っています。今後とも本に慣れ親しむ活動を継続いたします。次年度は異学年でのなかよし読書を計画しております。
(8)	3・4年生の外国語活動、5・6年生の英語授業では、ゲームや歌、デジタル教科書を使用したりしながら、授業の工夫を行っています。今後とも英語を話すことが楽しいと思えるような授業づくりを進めます。
(9)	ナビマの日常的な使用や様々な機能の使用など子どもたちのタブレット端末の活用頻度が増加し、ICT活用スキルがより高まりました。今後とも子どもたちの発達段階に合わせ、情報モラルを高めるとともに情報活用力の育成のためにICTを活用してまいります。今後はICTを効果的に取り入れ、一層の充実を図ります。
(10)	子どもたちの普段の様子の変化や心のアンケートからいじめの兆候を捉え、把握した内容を全教職員で共有し、組織対応しています。今後はいじめ、体罰・暴言は絶対許されない行為として子どもの人権を守ります。
(11)	教員の話をも素直に聞き、学校のきまりを守る子どもが多いです。今後も道徳授業や学級指導を通して「何のためにきまりがあるのか」を学ばせ、きまりを守ろうとする「自律した子ども」を育成します。
(12)	「あいさつ あふれる ふじのだい」を目指し、すべての子どもが自ら進んで挨拶できるように、登校時や教室、朝会で指導しています。『あいさつの木』や『あいさつの標語づくり』などの取り組みも行っています。次年度も挨拶を1番の生活目標とし、年間を通じて挨拶に関する取組を行います。
(13)	警察と連携した横断歩行訓練や自転車教室の他、毎月の避難訓練や安全指導を通して、交通安全、不審者対応など自分の身を自分で守ることを指導しました。今後も危険を予測し、回避できる子どもの育成に努めます。
(14)	外部講師による情報モラル教育を中学年は1回・高学年は7～8回計画的に実施し、インターネットを使用するときのマナーや注意することを学びました。今後は全学年で発達段階に合わせて系統的に学ぶように情報モラル教育を充実します。
(15)	感染症対策を徹底しながら以前の体育的活動が戻りつつあり、運動やスポーツに積極的に取り組む様子が見られます。今後とも運動方法や遊び方を工夫するなどして子どもたちの体力向上を図ります。
(16)	学校では季節や行事にちなんだ給食を意識して提供しています。「給食室からのお知らせ」のや家庭科の学習で、食に関する文化や栄養と健康についての理解を深めています。今後も給食の時間を中心に望ましい食習慣が身に付くように指導いたします。
(17)	今年度も6年生の中学校訪問・部活動体験、教員の合同研修、教育課程や教育内容の情報交換を行いました。次年度は本校の授業を公開し、意見交換する研修会を計画するなど、今後とも小・中連携を一層充実します。
(18)	日々の掃除、美化委員会活動、学校用務員による清掃、委託業者によるトイレ清掃、施設の定期的な点検と修繕を実施し、校内美化・校内整備に努めています。今後も清潔で安全な学校づくりを推進します。